

## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	未定		(対象)	全校・学年	
学校名	静岡県立富士高等学校	氏名	後藤 久実	学年	2

### 1 目的・応募理由

私は英語部に所属し、その一環として昨年中国の高校生との交流に参加しました。その交流を通じて、日本との文化や生活習慣の違いを肌で感じ、海外の暮らしや価値感に興味をもつようになりました。今日のインターンシップでは日本以外の国を自分の目で見て、さらに理解を深めたいと強く思っています。今回、静岡で100年以上の歴史を持つ静岡鉄道さんの事業に触れる機会を通じて、将来の視野を広げる学びを得たいと考え応募しました。

### 2 研修内容等

#### 【国内研修】

まず初めに日本平ロープウェイに乗車をしました。この日本平ロープウェイは日本平山頂と久能山東照宮を結ぶ全長1065mのロープウェイです。「四季折々違った風景が楽しめるんです」と通る箇所ごとに見所をロープウェイの中にいるスタッフさんが話してくださり久能山東照宮へいく道が「移動」だけではなくとてもわくわくした時間になりました。たいらぎの食事では日本平の土地にゆかりのある食材や料理で日本平の魅力がたくさん詰まっていました。鉄道部の紹介では、静岡鉄道さんは静岡市中心部から清水を結ぶ11km路線で“shizuoka rainbow trains”という7色で色分けした電車を運行しているそうです。僕のヒーローアカデミアとのコラボや昔使っていた電車も見せていただきました。事務所見学では災害等の時のための機器や、無人駅の対応の仕方、運行の管理をしているところを見ました。安全整備機器使用訓練では実際に体験させていただき、車内や踏切の非常用ボタン含め安全設備が行き届いていました。最後に鷹匠ビルの見学に行きました。静岡鉄道さんは鉄道事業だけではなく色々な事業を展開していることを知りました。

#### 【海外研修】

19日、まず猫空ロープウェイに行きました。猫空ロープウェイは「動物園駅」から「猫空駅」までの約4kmを結ぶロープウェイです。元々は現住民の通勤手段に使われていたそうです。ロープウェイを繋ぐロープは一本の太い線ではなく細い線が合わさって人の手によって捻られできたものをさらに捻って作られていることに驚きました。次に車両工場に行きました。日本にはない様々なアプリや仕組みが導入されており、過去の事故をもとに安全安心な運行のための機械の仕組み等の説明をしていただきました。避難体験では静岡鉄道さんと同様、非常用ボタンの説明を受けました。しかしボタンの押す条件は違い驚きもありました。電気がなくても緊急時電車の扉が開くようになっており、後ろからも出ることが可能だそうです。台北

メトロに実際に乗車してみて、飲食厳禁というルールだけではなく椅子の配置が全然違ったり真ん中に手を掴む手すりがあったり見た目だけでも変化が大きかったです。車両司令センター視察では、大きなスクリーンに現在の状況が映し出され、いくつかのチームに分かれて対応をしていました。

20日、市内研修をしました。龍山寺は日本とは違った参拝方式や、おみくじの引き方で台湾の文化に触れられてよかったです。九份は“千と千尋の神隠し”で有名な場所です。色々なお店が連なり、みてまわるのが楽しかったです。

21日、日本に帰国しました。色々な人の支えがあり、すごく楽しくて思い出に残り、様々なことを学べた有意義な4日間を過ごせました。



法律では禁止されているものの日本でもたまに見る2人乗りだけではなく3人乗り、4人乗りをしている人も多かったです。信号で赤でもいけそうならいってしまうバイクもあり自分も実際にハラハラした場面もありました。台北メトロさんは安全な交通手段であり利便性も高いので多くの人から利用されています。大規模な経営でたくさんの方が利用する中で時間通りの運行や安全を大切に、安全設備だけではなく、アプリや機械で読み取った人の混み具合によって運行時間を調節していることがわかりました。地元寄り添った経営と大衆向けの効率的な経営。その土地のニーズ合わせて違うところもありましたが、安全を第一に考えていることは同じだと気づきました。

## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	8月27日		(対象)	全校・学年	
学校名	静岡県立科学技術高等学校	氏名	内野 壮一郎	学年	2

### 1 目的・応募理由

小学生の頃からバスが好きで中学生の時にはしずてつジャストライン鳥坂営業所で職場体験学習を行いバス会社の仕事を学びました。タイヤの締め付けや運賃収入の集計などを体験し、多くの人の支えによってバスが安全・快適に運行されていることを実感しました。高校生になってからは「土木」と「交通」を組み合わせた都市交通に興味を持つようになりました。調べていくうちに、中学校の職場体験学習でもお聞きした「利用者の減少」や「運賃の値上げ」などの地域の公共交通機関が抱える課題を改めて認識するようになりました。その結果、都市交通を通じて地域を盛り上げたいという思いが強くなりました。そのため、学校での課題研究は「長田地区コミュニティバスの利用促進」をテーマにより多くの沿線に住まわれている方々にコミュニティバスを利用してもらえるように活動を始めました。活動していくにつれて地域の交通問題を解決したいという思いがますます高まってきました。それとともに海外ではどのようにして交通が人々の生活を支えていて人々の暮らしを豊かにしているのか実際に見て学びたいという思いが芽生えてきました。そのため、今回の研修で静岡市の交通を支える静岡鉄道がどのように海外の会社と連携しているのかを学びたいと思い参加を希望しました。

### 2 研修内容等

#### 《実施前研修》

自己紹介、研修概要、渡航時の注意

#### 《国内研修》

日本平ロープウェイ現場見学、久能山東照宮観光、鉄道部見学、事業所見学・安全設備機器使用訓練、本社見学

#### 《海外研修》

猫空ロープウェイ乗車・視察、台北メトロ車両基地・車両工場視察、レールメンテナンス視察、避難体験、乗車体験、車両指令センター視察、台湾夜市、龍山寺、中正紀念堂、総統府、九份観光



### 3 感想等

実施前研修では今回ともに研修する仲間と出会い、同じ志を持った仲間とつながることができ非常に多くの刺激を受けることができました。特に秀平さんは鉄道が好きで将来交通に携わる仕事に就きたいとも言っていました。私が通う学校の中だけでは交通に興味がある人とは出会わないので今回の研修



を通じてつながりを持つことができとても充実した時間を過ごすことができました。

国内研修では静岡鉄道の「安全・安心のあくなき追求」や地域と共に歩んで来た歴史について学びました。すべての駅・踏切にカメラを設置して乗客や通行人、線路の安全を守っていました。また車内や駅のホーム、踏切でそれぞれの安全対策が行われていました。静岡鉄道は「まちづくり」をしている会社であるということも大きな発見でした。静岡鉄道は鉄道・索道事業のほかにバス・タクシーや不動産、自動車販売などを行っています。研修をする前までは他業種の事業の間にどのような繋がりがあるのかわからずにいました。しかし鉄道を軸にしてその利用客の様々な要望に応えていった結果が多業種で事業を展開していることにつながっていることがわかりました。沿線住民の生活を豊かにするという1つの目標のもとで様々な事業を展開していることがわかりました。

海外研修では静岡鉄道と台北メトロの共通点と相違点を比べることができました。日本でも台湾でも乗客や線路を通行する人の安全を第一に考えていることがわかりました。静岡鉄道では「安全安心のあくなき追求」という言葉がありました。一方、台北メトロでは「安全第一」という言葉が幕に掲げられていました。国が違っても乗客を安全安心に目的地までお送りするというという基本的な考えや鉄道の使命は変わらないということがわかりました。車両監視センターもあり台北メトロの5路線を路線別や全体と細かく分けて一か所で車両の運行を監理していました。静岡鉄道はすべての駅のホームと改札、切符売り場にカメラが設置されていて台北メトロよりさらに細かく駅の情報把握できるようになっていました。静岡鉄道は多くの駅が無人駅であるのに対し台北メトロに無人駅がありません。そのため、監理をどこまで細かくするのは無人駅の有無など国やその地域によって違いがあるためその地域にあった無駄のない監理の仕組みが確立されていることがわかりました。また、どちらの鉄道会社も鉄道だけではなく非鉄道事業に進出していました。しかし、その切り口はそれぞれの会社で違いがありました。静岡鉄道では鉄道から他の交通機関に進出し、そこから沿線の不動産開発や商業施設の運営へと事業を拡大していました。台北メトロではロープウェイ、台北アリーナ、シェアサイクリング、ホテル事業とホテル事業を除けば、公共性の高い事業を非鉄道事業としていることが特徴的でした。台北メトロは市政府がバックに付いているため公共事業の中でも民間のような素質がある分野を台北メトロが非鉄道事業として担っていると感じました。そのほかにも未来の担い手を育てるといふところも共通していました。静岡鉄道ではしずてつ電車まつり、台北メトロではMRTの展示室やロープウェイの施設見学が行われていました。少子化の中でも未来の担い手を確保していく取り組みはとても似ていました。

今回の研修で日本と台湾の交通事業者を見学したことで日本との共通点や相違点を見つけることができました。私の興味がある交通政策の観点からみても国によって違いがありました。日本は民間主体なのに対し台湾は政府が民間に指示をする形で全然運営形態が違いました。そのため日本では公共交通の廃止、減便が相次いでいますが台湾では常に一定の本数が早朝、深夜問わず確保されており公共交通の好循環が生まれていました。日本も学ぶべきところがお隣の台湾にたくさんありました。将来、研修で学んだ内容を日本でどのように導入できるようにするのか考えていきたいと思いました。

## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	8月28日		(対象)	全校・学年	
学校名	静岡県立藤枝北高等学校	氏名	小林 凜久	学年	2

### 1 目的・応募理由

この海外インターンシップを通して、海外の企業や現場を実際に訪問して見学したという経験が自分の強みの一つになると考えるとともに、異なる文化や価値観の中で生活してみて自分のグローバルな視点を養い、見聞を広げたいと考え、応募した。

### 2 研修内容等

#### 〈実施前研修〉

日時：令和7年7月20日（日）

場所：静岡県庁

内容：海外インターンシップの趣旨説明

自己紹介

国内・海外研修の詳細説明 など



写真1 国内研修の様子

#### 〈国内研修〉

日時：令和7年8月4日（月）

場所：静岡鉄道株式会社

内容：・日本平 RW 現場紹介・久能山東照宮案内

・鉄道部の紹介・事業所見学

・安全設備機器使用訓練

・新静岡駅、鷹匠ビル見学

#### 〈海外研修(企業見学)〉

日時：令和7年8月19日（火）

場所：猫空ロープウェイ・台北メトロ

内容：・猫空ロープウェイ乗車、視察

・台北メトロ車両基地、車両工場視察

・避難体験・乗車体験・車両指令センター視察



写真2 3日目の昼食

※8月18日に台湾へ渡航

20日に台湾市内研修を実施

21日に日本に帰国

### 3 感想等

私はこの高校生海外インターンシップを通して、様々な学びを得ることができた。1つ目は多角的な視点から考えることの必要性だ。海外で実際に生活してみて、本での当たり前がここでは当たり前でないと感じた、これは日常生活の中でも存在すると思うので今後、何かを考えたり決定したりするような機会があった際には、自分がどうしたいのかではなくその決定により他の人はどう思うのかなど、客観的に物事を捉えて皆が納得するものを選択できるようにしていきたい。2つ目は自己実現のために必要、もしくは有利になる資格を見つけることができた。中にはとても難しいものも含まれているが努力し、先生方の力も借りながらできる限り取得できるようにしたい。

最後に人に恵まれているということに気付かされた。研修中は、先生方や引率者のサポートがあったからこそ安心して学ぶことができた。また、班の仲間と協力し合いながら行動することで、不安な場面も前向きに取り組むことができた。さらに、現地の方々が親切に接してくださり、文化や言葉の壁を越えて交流する喜びを体験できた。この経験から、私は「一人で成長できるわけではなく、周囲の人に支えられている」ということを実感した。これからも人とのつながりを大切にし、感謝の気持ちを忘れずに挑戦を続けていきたい。



## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	12月19日		(対象)	全校・学年	
学校名	静岡県立磐田南高等学校	氏名	秀平 誠朗	学年	2

### 1 目的・応募理由

社会が国際化していくなかで、海外で働く機会や、海外の人とオンラインでつながって会議をする機会が増えている。自分の将来のために留学について調べていたところ今回のインターンシップを知った。日本と海外のつながりや、日本の技術が海外でどのように活かされているか知りたいと思い、本インターンシップに応募した。

### 2 研修内容等

国内研修	海外研修
静岡鉄道車両基地見学 静鉄鷹匠ビル見学 日本平ロープウェイ営業所見学 久能山東照宮訪問	台北メトロ車両センター見学 台北メトロ乗車体験 猫空ロープウェイ乗車体験 ロープウェイ施設見学 静岡県台湾駐在事務所訪問 龍山寺訪問 中正紀念堂訪問

### 3 感想等

私たちはまず国内研修にて、静岡鉄道と日本平ロープウェイについて研修を行った。静鉄の車両基地では、静鉄鉄道部の中枢で働く社員の方を見ることが出来た。安全の確保のために一生懸命に動いている姿が印象的だった。日本平ロープウェイは、車両が新しくなったばかりだということも相まってとても乗り心地が良く、これまでのロープウェイに対して抱いていたイメージが覆された。久能山東照宮では特別に宮司の方にガイドをして頂き、日光東照宮との違いや本殿の造りについて詳しく教えて頂いた。宮司の方は1159段の石段を毎日登って来ているのだと聞き驚いた。



車両ごと混雑状況リアルタイム配信

国内研修後に台北へ向かい、静岡鉄道と提携している台北メトロや猫空ロープウェイについての研修を行った。台北メトロ車両センターでは台北メトロの概要を知ることが出来た。言語に関して障壁のある私たちにも、台北メトロの魅力について社員の方が親身に語ってくださった。台北メトロでは車両の号車ごとの混雑

状況についてリアルタイムに配信するサービスが行われており、日本の鉄道会社も是非積極的に導入してほしいと思った。

台北メトロでは、多くの路線で自動運転、自動放送が行われていた。日本の鉄道で自動運転を行っている路線はかなり少なく、自動運転に関しては台湾の鉄道会社の方が発展していると思った。台北メトロの車両には日本製の車両が使用されており、日本の技術力の高さを台湾でも感じる事ができた。



台北メトロ車両基地

猫空ロープウェイでは下がガラス張りになっている車両に乗った。山をいくつも越え、営業距離がとても長く、標高の高い所を走るのとても景色がよかった。通常の車両の他にもケーブルの点検用の保線車両にも乗る機会があり、普段は作業員しか乗ることが出来ないためとても貴重な経験になった。

中正紀念堂では、ガイドの方の時間調整のおかげもあり兵隊の交代式を見ることができた。1時間に1回、数分間しか行われなため、非常に貴重な経験となった。この儀式は、軍の制服に身を包んだ兵士が一糸乱れぬ動きで交代の儀式をする。日本では、まず見ることができない。この交代式は1980年に始まり、約44年間行われ、2024年の7月中旬から内容が変更され現在に至っている。



中正紀念堂交代式

### この研修を通して

最初に県庁で会った時にはお互いに緊張しており不安もあったが、国内研修を経ていざ台湾へ向かう時には、完全に打ち解けあい、何でも話せるような関係になっていた。引率していただいた先生は、私たちへ細やかな配慮を頂き、安心して研修へ臨むことが出来た。

引率者を含め、台湾へ向かったのは8人であった。人数が少数であるため、一つ一つが濃い研修内容になったと思う。研修中には、私と同じ鷺津地区出身の静岡鉄道の社員の方との出会いもあった。この他にもこの研修に参加しなければ出会えなかった多くの素敵な方との出会いがあった。そこで出会った多くの人たちは、私たちに学びを提供してくださり、私に新たな発見を与えてくださった。本研修で出会ったすべての人や、参加を認めてくれた両親、参加するにあたって尽力してくださった磐田南高校の先生方、引率してくださった片井先生に感謝をしたいと思います。本研修は多額の寄付金によって成り立っている。ここまで多くの経験をさせて頂いたのは、この事業に賛同し寄付をしてくださった静岡鉄道などの県内企業の皆様のおかげである。私たちに大きな期待を寄せて寄付をして頂いているので、いつか何らかの形で静岡県や県内企業に貢献することで期待に応えたい。

## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	今後、2学期に実施予定		(対象)	全校・ <u>学年</u>	
学校名	静岡県立浜松湖北高等学校	氏名	鈴木 一世	学年	2

### 1 目的・応募理由

鉄道業界への就職を希望し、社会や地域の発展に持続的な貢献をしたいと考えています。インバウンド需要がある海外でのインターンシップに興味がありました。鉄道ビジネスを通して社会や人々が受けとめる価値観が何か、どのようなサービスで顧客満足度を得られているのかを学ぶことを目的に応募しました。

### 2 研修内容等

#### (1) 実施前研修

実施日：7月19日（土）

研修場所：静岡県庁別館 第4会議室

研修内容：諸連絡や関係者紹介、高校教育課挨拶、趣旨説明、全体研修、グループ別研修、質疑応答等

あらためて海外インターンシップの内容を理解し、浜松湖北高校、静岡県の代表として参加する自覚を持ちました。交流や視察、就労体験等の活動を通して、海外マーケットにおける企業の魅力や競争力、貢献度などを現地で実際に見聞きして肌で感じることを大切にしようと思えました。そして、将来の働き方や生き方について、真剣に考えられる活動にしたいと思えました。

今回の研修は、ふじのくにグローバル人材育成基金（寄附金）によって支援をいただいています。この後実施予定の国内研修・海外就労体験・研修成果発表を充実したものにできるよう、目的とスケジュールの確認をして臨もうと思えました。国際的視野を持ち、地域社会の発展に貢献できる人材になりたいです。



#### (2) 国内研修

実施日：8月4日（金）

研修場所：日本平ロープウェイ、静岡鉄道事業所、新静岡駅・鷹匠ビル

研修内容：会社概要、事業概要（鉄道部）、ロープウェイ体験、久能山東照宮見学、昼食、事業所見学、安全設備機器使用訓練、新静岡駅・鷹匠ビル見学、質疑応答等

今回の研修で、静岡鉄道は静鉄グループの中でも中心企業であり、強み（鉄道、索道、バス・タクシー、ホテル、不動産事業等）によって人々の生活を強固に支え、まちづくりに貢献している企業であることを実感できました。

日本平ロープウェイでは、その整備や管理、観光客の迎え入れ体制が安全・安心とおもてなしの精神から成り立っているものだと感じました。昼食の「大御所御膳」やお土産は静岡をアピールするインパクトある商品でした。思わず買ってしまったくなる戦略があると感じました。学校でマーケティングを勉強している私にとって、大変興味深いものでした。

運転運輸営業所での研修では、静岡鉄道の沿革やサービスに対する思い、「安全・安心・快適のあくなき追求」について説明を受けました。お茶を輸送することから始まり、全国で初めてワンマン運転をしたという内容については、静岡が改めてお茶の産地であること、産業を支える役割を担っていると実感しました。安全設備機器使用訓練の体験では、安全があって安心を得られることを理解しました。こちらでの経験は、学校で学んだ経営におけるマーケティングとマネジメ



ントについて、体感することができた内容でした。

鉄道の役割は人やものを運ぶだけではなく、地域活性化やまちづくり、CO<sub>2</sub>削減で環境問題の解決、コミュニティの提供やイベントの企画で新たな場所や人との出会い（繋がり）を作るなど、無限大に役割があると感じました。特に、まちづくりにはまちを良くしたいという想いと前向きに楽しめるマインドやパーソナリティが大切だと学びました。私は、鉄道の強みを活かした社会や地域の発展に持続的貢献できる職業人になりたいです。

### (3) 海外研修

実施日：8月18日（月）から8月21日（木）まで

研修場所：台湾 台北メトロ、猫空ロープウェイ、静岡県台湾事務所

研修内容：1日目 浜松→羽田空港→台湾

2日目 午前 猫空ロープウェイ乗車・視察（体調不良のため通院）  
午後 見学（車両工場、レール車両メンテナンス、車両司令センター）、避難体験、乗車体験（復興崗駅-台北駅）

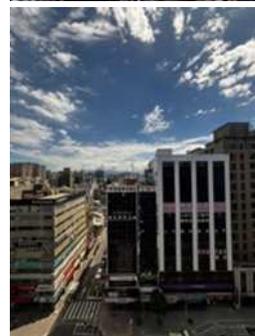
3日目 午前 静岡県台湾事務所所長講話「台湾最新事情」  
午後 市内視察

4日目 台湾→羽田空港→浜松

県内企業が海外とよりグローバルな関わりを持ち、企業の成長と社会貢献を目指して企業努力し続けていることや、自社の強みで社会貢献に繋げる取り組みを目の当たりにすることができた研修となりました。国内だけではなく海外に進出することは、新たなニーズや発見を見つけ、新たな繋がりを作り、企業成長と企業の強みを活かした社会貢献への展開に繋がることになると感じました。

今回多くの貴重な経験と学びを得られたことで、自己実現のためにグローバルな視野をもっと広げていきたいと思いました。地元で貢献できる職業人になるためには、地元を知ることはもちろんですが、社会の変化やニーズの変化に気づき、柔軟にタイムリーに対応できないといけないと感じました。そのために、前向きに自ら行動することで、視野を広げていくことが必要だと考えます。また、普段から自分の目標を明確にしておけば、チャンスは掴めるものだと実感しました。

台湾での企業見学だけでなく、文化や食文化の違いを体感し、台湾の方々との直接交流、大好きな交通機関の体験、本当に充実した時間を過ごすことができました。これらの経験を通じて台湾の魅力を深く理解することができ、台湾にまた行きたいと思いました。体調を崩してしまったため、体験できなかったロープウェイには必ずリベンジします。この研修で得た学びや繋がりを大切に、今後の成長に繋げていきたいと考えています。



## 3 感想等

将来鉄道業界で働きたい私にとって、鉄道界における国内外での実体験は大きな学びとなりました。社会や人々にとって鉄道ビジネスの提供価値は「安全」と「ニーズに合わせた価値」だと実感しました。鉄道にはものや人を運ぶことだけでなく、人とも、人と人を繋ぎ、まちづくりに大きな役割があると感じました。その役割を担うことで、社会や地域の持続的発展に繋がるのだと感じました。

世の中が変化していく中で、鉄道の役割も変化していく部分はあると思います。また、観光地等でのインバウンド対応をはじめとする様々な課題については、鉄道界の力が解決の糸口にもなると思います。今回の貴重な経験を活かし、学校の授業や日常生活の中で具体的に考え、提案していくことを挑戦したいと思います。

今回、特別な経験をすることができたことは、何よりこのような学びの場を提供していただいたことのおかげです。本当にありがとうございました。私は将来、鉄道界で「繋ぐ」仕事に従事し、地域や社会全体に笑顔をお届けられるような職業人になりたいです。

## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾			
校内発表会	2026年2月		(対象)	全校・学年		
学校名	静岡市立清水桜が丘高等学校	氏名	大石 優芽	学年	2	

### 1 目的・応募理由

私は、元々ある趣味がきっかけで韓国の文化や言語に興味を持っていて、実際に家族で韓国を訪れたことで、アジアの文化にも興味を持ち始めた。高校一年生の時に台湾の方との国際交流で実際に会話をしたり、文化に触れたりするという経験をしてとても楽しかったのを覚えている。もう一度この研修を通して、語学や文化などを肌で感じつつ、ビジネススキルや実際に海外で働いている方々の異文化での柔軟なコミュニケーション能力や対応力を学びたいと思ったからだ。

### 2 研修内容等

#### 【国内研修】

国内研修では、日本平ロープウェイに実際に乗り、日本平の山頂から久能山東照宮まで移動した。ロープウェイは、日本平の山頂と久能山東照宮を結んでおり、全長 1065 mもある。1957年に開業し、現在に至るまで約 68 年間有責無事故を継続している。ロープウェイからは、屏風谷や久能海岸などを見ることができた。久能山東照宮では、神主さんに歴史を説明してもらいながら回った。普段なら入れないところにも入ることができた。日本平ロープウェイの方に戻ってから、たいらぎというレストランで昼食をとった。午後は、静岡鉄道の運転運輸営業所の方に行き、鉄道部の紹介を聞いた。静岡鉄道の歴史や静岡鉄道の概要やまた日本平ロープウェイの概要についても少し説明を受けた。次に事業所見学で、駅務係の仕事現場を見たり、説明を聞いたりした。また、昔実際に使っていた鉄道なども見させてもらった。そして、静岡鉄道の電車を使って安全設備機器使用訓練を行った。非常ボタンをどんな時に押すのかを説明を受けたり、実際に押してみたりなどの体験を行った。最後に、静鉄電車に乗って新静岡駅まで行き、新静岡駅・鷹匠ビル見学を行った。そこで働いている社員さんから静鉄グループが行っていることや事業内容などを説明してくれた。

#### 【海外研修】

海外研修では、1日目に台湾についてからガイドさんに会い、まず「丸林」というレストランで夕食をとった後、「饒河街観光夜市」で観光した。2日目は、猫空ロープウェイに乗ったり、「指南宮」という場所でお寺に行き、お参りをしたり、猫空茶屋で猫空茶を買ったりした。昼食は「金品茶樓」というレストランで焼売や餃子を食べたりした。次に、台北メトロの本部に行き、車両基地や車両工場・レール車両メンテナンスの視察をした。また別の施設で、避難体験や安全設備機器使用訓練等も行った。その後実際に街中を運行している電車に乗って乗車体験を行った。最後に車両指令センター視察なども行った。3日目は、県駐在事務所よる講話を聴いて、事業内容や台湾の基本情報・文化などの説明を受けた。次に、専用車で車窓から中正記念堂や總統

府を見た後、「龍山寺」というお寺を訪れ参拝した。龍山寺でガイドさんから台湾のお参りの方法を習いながら神様にお祈りをし、くじ引きを引いたりした。昼に、中正記念堂で衛兵交代式を見たり、ガイドさんの歴史の説明などを聞いたりしながら観光した。午後は、エバーリッチ免税店でお土産を買い、九份で千と千尋の神隠しのある場面のモチーフとなった場所で記念撮影をしたり、幸福堂というお店でタピオカを飲んだり、お土産を買ったり観光を満喫した。夕食は、北京料理屋さんで北京ダックを食べたりした。

### 3 感想等

静岡鉄道は台北メトロと日本平ロープウェイは猫空ロープウェイと友好協定を結んでいて、今回の研修で国際比較をしたが、台湾は鉄道・索道のどちらも規模がとても大きくて、ロープウェイは日本ではあまり長い時間乗らなかったが、台湾では、30分以上と長い時間乗り、景色もより楽しむことができた。また猫空では、ロープウェイだけでなくエリア全体を楽しむことができた。鉄道は、静鉄は車両も台北メトロに比べて小さくあまり長い距離は運行していないが、台北メトロは台北市内を中心に長い距離を運行していて、どちらかというところとJRに近い感じがした。実際に電車に乗って分かったこととして、台湾は電車の座席の位置に日本と違いがあり、とても驚いた。今回の研修で日本でも台湾でも安全設備機器の訓練を行って知識を得たので、万が一電車内や駅のホームで危険な場面に遭遇した場合は、非常ボタンを勇気をもって躊躇せずに押したいと思った。また日本では、線路内の落とし物としてワイヤレスイヤホンが多らしく、線路内に落とし物をした際にどれくらいの影響が周りに及ぶのかが分かったため、今後自分もさらに気を付けようと思ったし、乗客の方にも気を付けてもらいたいと思った。台湾の食は少し味付けの濃いものもあったが、日本人にとってはとても食べやすいものであり、どれもとてもおいしかった。3日目の県駐在員事務所の講話で自分が興味を持っていた台湾の文化や言語について知ることができたのでとても面白かった。今回の研修を通して台湾のさまざまなところ観光して台湾の文化を感じたり、歴史を知ることができたのでとても良い経験をする事ができたなどと思った。また、台北メトロや猫空ロープウェイや県駐在員事務所の現場をみて海外で働くとはどういうことなのかを実感することもできた。この経験を通して、早い段階からコミュニケーション能力や語学力などの力を将来のために身に付ける必要があるなどとも思った。



## グローバル人材育成事業報告書

参加したプログラム	高校生海外インターンシップ	訪問国	台湾		
校内発表会	9月22日		(対象)	全校・学年	
学校名	聖隷クリストファー高等学校	氏名	谷口 奏斗	学年	2

### 1 目的、応募理由

私は国際関係の分野に関心を持っていて、最近では海外で働く日本人のことについて興味があります。そこで、静岡県が主催する海外インターンシップのことを聞き、参加しようと思いました。僕は台湾へのインターンシップを希望しました。他にもタイやインドネシアへのインターンシップがありましたが、近年経済成長を続けている比較的都市部の台北に興味がありました。単純な英語力だけでなく、他国の国の人、特に、英語を公用語としない国で自分のコミュニケーション能力はどこまで通用するのかを知りたいと思っていました。加えて、日本の文化や都市機能の違いを学びたいと考えていました。鉄道や交通関係にはあまり興味がありませんでしたが、鉄道やバスは自分にとって身近なもので、生活に深く関わっています。そして、このような交通機関を運営している企業の規模は地域限定のものだと考えていましたが、その企業が海外進出をしてどのような部分に繋がり、活かされているのかを調べて、地元をどう励ますのかを探究しようと思いました。

### 2 研修内容等

まず、訪れたのは猫空ロープウェイで、国内研修の際に訪れた日本平ロープウェイと友好協定を結んでいて、なにがどう違うのかを間近で確認できる貴重な機会となりました。日本平ロープウェイと大きく違うのは距離で、猫空ロープウェイは遥かに長い距離をつないでいました。それに比例してゴンドラに乗っている時間も長く退屈にならないかと思っていましたが、企業の方が丁寧に台湾の街並みや風景について説明してくださり、とても楽しい時間でした。やはり日本と同様に、移動時間でさえもお客様に楽しんでもらう努力はされているのだなと気づきました。

次に伺った台北メトロ車両基地、車両工場では、台北メトロの様々な技術に驚きました。電車の床に人が一定の面積にどれだけ乗っているかを測るシステムを導入し、それを元に混雑状況を駅のホームやアプリに表示して渋滞を少なくできる仕組みにとっても興味を持ちました。他にもAIを活用したものがあり、人々の生活に深く根付いている企業としての努力を見ることができました。このような取り組みも発信して日本だけでなく、人口の多い国もと入れられたらいいなと思いました。最後に駐在員事務所の方によるお話を伺いました。その方は主に静岡の魅力を発信する仕事をされ

ていて、SNS や地元の店舗でのポスター掲示や商品の販売をしていました。また、台湾で起業することの難しさや日本との相違点も教わることができました。海外で働くことを志望する僕にとって有益な情報となりました。

### 3 感想

僕はこの高校生海外インターンシップに参加して様々なことを得ることができました。まず、県内に数ある企業が地元や地域住民のために工夫を重ねていることを知りました。年に数回イベントを開催したり、見学会を主催したりして、交流を深めていく活動には心を打たれました。信頼してもらうことが何よりも大事なのだと感じました。静岡鉄道さんが企画してくださった台湾の研修は、鉄道部や営業部署などのビジネスのことについて考える時間だけでなく、実際に台湾の街や観光地を訪れる時間も取られていました。丁寧に説明してくれるガイドさんとバスの運転手の方と行動をさせて頂き、すごく楽しくてもう一回行きたいな、と思わせてくれました。改めて自分たちの町の良さや改善点にも気付き、いかに国際的な交流が大事かを知りました。加えて、今まで不鮮明だった将来の夢や目標についてもじっくりと考えることができ、新たな視点で自分を見つめて、どう地域に貢献していくか、どうやって地域を励ますかを考えたいと思えるようになりました。自分の語学力とコミュニケーション能力がまだ不足していると感じるので、今後、「トビタテ！留学 JAPAN」の活動にも目をつけて、他のインターンシップにも参加してみようと思います。このような素晴らしい経験ができる高校生海外インターンシップを他の人にも勧めて、よりよい社会を目指すことのできるように日々精進していきたいです。

